

通信

no,1 2020.04.12

発行：革新都政をつくる会事務局  
TEL 03-5978-4031 FAX 03-5978-5052

当面の中間選挙

目黒区長選 4/12 告示、19日投票  
福生市長選 4/19 告示、26日投票  
港区長選 5/31 告示、6/7日投票

都政パンフ大量普及、呼びかけ人拡大  
電話で手紙で声かけを

迫る7・5都知事選挙  
いまだ、きること、  
10日、事務局会議を開催、代表世話人会の方針を具体化し、新型コロナウイルスの拡大のもとの当面のとりくみについて確認しました。  
①「市民と野党の共闘で小池都政転換」をめざす呼びかけ人の拡大  
②都政パンフの学習と20万部の普及  
③「都民の目で見た小池都政黒書」の5月中旬までの作成  
④会ホームページによる情報発信の強化。事務局通信発行  
⑤選挙募金の開始  
新型コロナウイルス対策での自粛要請で活動に困難を迎えています。//いまだできること//に全力をつくしましょう。

国は辺野古基地建設を止め、東京都も外環道や特定整備路線、国家戦略特区などの巨額な不要不急の公共事業を中断・中止するなどして予算を確保し、新型コロナウイルスから国民と都民の生命と生活、営業を守る抜本的な大型の予算の再編成をおこなうべきです。また、都立・公社病院の地方独立行政法人化はただちに中止すべきです。

新型コロナ対策は正念場  
医療支援、「自粛と補償はセット」、大型予算を  
全人類的課題となっている新型コロナウイルスの国内感染拡大は、東京において感染者を急増させています。国・東京都は初動に失敗して、感染を広げ、安倍政権は4月7日、緊急事態宣言を発令しました。しかし、医療体制の危機的状況の打開の方向は見えず、業者、国民からは「自粛と補償は一体」の悲痛な叫びが上げられています。

都政パンフ  
市民と野党の共闘で小池都政の転換をめざす  
2020年都知事選挙  
私たちの提案  
東京都知事選挙(7月5日投開票)が目前に迫りました。革新都政をつくる会は「市民と野党の共闘」を実現し、都政を転換するために都政パンフを作成しました。主な内容：①小池都政の分析・評価、②市民と野党の共闘の呼びかけ、③貧困と格差、自然災害、地球温暖化などの課題、くらしや福祉などの都民の切実な都民要求に応える提案  
■ 特版 40頁 ■ 頒価：300円  
革新都政をつくる会 TEL 03-5978-4031  
e-mail: info@kakushintosei.org

日野市で革新都政をつくる会が再開。ただちに呼びかけ人拡大にふみだす！

4月5日、革新都政をつくる会日野市民の会再開世話人会が開催されました。会には日野市内の革新懇、日野労連新婦人、日本共産党日野市委員会などの代表8名が出席。

都段階の革新都政をつくる会からの都政問題の報告をうけ、意見交流と当面のとりくみについて検討をおこないました。

都政報告では、①小池都政の4年について、オリンピック見直しや築地市場移転、情報公開、待機児解消など小池知事の都民との約束がどうなったのか、など小池知事が誰の方に顔を向けて都政を運営しているのか、②財界・大企業奉仕から「都民が主人公」の都政への転換、新たな多摩格差の是正などの政策転換の課題、③7月5日投開票の都知事選挙に向けた浜矩子さんなどの「呼びかけ人会議」の拡大、革新都政をつくる会作成の都政パンフの普及と団体・地域での会の確立・運動強化など「市民と野党の共闘の実現で小池都政の転換」をめざすとりくみ、などが報告されました。

会議後ただちに呼びかけ人を5人拡大

議論の中では、シルバーパスの負担軽減とモノレールへの適用、国保税の軽減、ミニバスなどの交通政策、保健所の拡充(多摩地域には5カ所のみ)、都営住宅の建設、多摩格差問題など切実な市民要求が出され、くらしと都政のかかわりについて意見が交換されました。また、日野市民の会としての学習会の開催や呼びかけ人の拡大、宣伝など、新型コロナウイルスの感染予防対応に考慮したとりくみが検討されました。

この意思統一にもとづいて、さっそく、世話人が市民と野党の共闘の呼びかけ人拡大にとりくみ、5名を迎えました。

世話人会は、新型コロナウイルス対策の緊急事態宣言が発動される前でしたが、少人数で参加者の席の間隔をあけ、全員マスクを着用、部屋の換気も十分におこなうなど新型コロナウイルスの感染予防対策に留意しておこなわれました。